

## タウンミーティング記録 未来に向けて 今、ここから

日 時 令和6年11月23日(土) 午後2時～3時30分  
場 所 上福岡五・六丁目集会所（上福岡五・六丁目町内会）  
参加者 25人



### 主な意見等

参加者 公民館通りが舗装されたときのことになりますが、隣接している私道については、地域の人がお金を出し合って舗装をしました。併せて雨水溝もつくりました。ただし、その後の管理まではできていない状況で、近年、局部的豪雨などの災害が心配されています。公民館通りは公道ということもあり、市で雨水溝の掃除が定期的に行われていますが、私道の方までは行われません。ごみや砂利が堆積していますが、開口部以外はなかなか地域では掃除が難しいです。公道の掃除と合わせて私道も掃除していただけないでしょうか。

市 長 私道は個人の財産ですから、公衆用道路という位置づけにはなっていますが、管理についても所有者の負担で行っていただくというのが基本的な考え方ではありますが、幅員の確認も含め、個別案件として、現場を確認し、対応を検討します。

参加者 踏切の渋滞についてお聞きします。アンダーパスの話は立ち消えになっているかと思いますが、渋滞を解消するための対策は何かありますでしょうか。

市 長 県道の踏切は乗り入れの本数が増え、以前よりも閉まった状態になっていることが多く、渋滞も慢性化している状況です。ご存じのとおりアンダーパスについては、合併後、残念ながら費用対効果から計画

を中止しました。東武鉄道には高架化の要望は出していますが、代替策は現状ではないというのが実態です。

参加者 民生委員について、相談があります。4年に1度上福岡五・六丁目町内会からは4名を推薦しています。欠員が生じている自治会もあると聞きます。現職の方が継続していただければ当面は問題ありませんが、4年後はまた同じ状況になります。今までと同じやり方では難しいと感じています。国勢調査の調査員のように、市の職員が兼務するという方法は取れないのでしょうか。

市長 民生委員さんの推薦に当たっては、自治組織の皆さんに本当にお世話になっておりますが、それでも見つからず、かなり欠員が出ているというのが実態です。民生委員制度ができてから100年たちます。時代とともに高齢化が進み、担当する地区での課題も多様化してきて、民生委員さんの役割も変化してきています。現行制度では、人数からも現職の職員が兼務することはできませんが、退職後にお願いするというのであれば可能かもしれません。ただし、国の制度である以上は、国に見直しをしてもらうしかないと考えています。

参加者 今年度の防災訓練で緊急物資は3品も支給がありました。配布していたら途中で数が足りなくなりました。要望した数に足りなかったのか危機管理防災課に確認したところ、種類としては3品ありますが、このうち2品を選択して配布してくださいということだったと聞きました。それでは情報伝達訓練の意味がないと思います。ただ配布されただけで説明がなかったですし、配布する担当者にも危機管理防災課から説明がされていませんでした。

市長 訓練では、物資が足りないだろうと実際を想像しながら気づきを得なければいけませんでした。大変失礼いたしました。